

生福保育所民間移管計画の慎重な検討を求める請願

【請願要旨】

先日、私たちの子どもが通ういちき串木野市立生福保育所が、令和 4 年 4 月から民間移管されると市から直接説明を受けました。保護者に個別の事前アンケートを行うなど保護者の真の声を聞くこともなく、財政難という理由で決定されたことに、大変驚きや不安を抱いております。

私たちは説明会以前に、今年 7 月 20 日号の広報いちき串木野の記事の中で生福保育所が載っており、「施設の譲渡を行う」と書いてあったのを見ています。しかし、この記事の中では、令和 7 年度までの方針と書いてあることもあり、少々驚いたものの、時期についてはまだまだ先のことだというふうに感じていました。にもかかわらず、市からの説明は令和 4 年 4 月から民間移管するということを聞き、不安は日に日に増しています。

市の説明会での資料によると、民間移管をすることでの財政面のメリットの他に、民間移管されても引継ぎ保育を行うため、園児に不安を与えないように配慮する、これまで民間移管した市来、照島保育所についても、移管後に保護者アンケートをとったが、これまでと変わらない、むしろ良くなったなど、市の都合が良いようにメリットだけが書かれています。財政面というなら、市はふるさと納税を活用する方法があるのではないのでしょうか。

私たち保護者は、子どもが卒園までこの市立生福保育所で、今と変わらない環境で、最後まで楽しく過ごせることを望んでいます。少なくとも民間移管前提で入園していない在園児が卒園する令和 7 年度まで、そしてそれ以降の入園児が不安にならないような、保護者が安心して預けられるような保育環境を維持できるよう、継続して慎重に審議をしていただくよう請願いたします。

記

1. いちき串木野市立生福保育所の民間移管については、令和 7 年度までは実施しないでください。
2. 子どもたちが安心して成長できる環境づくりと施策の充実に、市が責任を持って取り組んでください。

令和 2 年 11 月 20 日

請願者	住所	いちき串木野市上名 210-2
	氏名	未来の宝を守る会
		会長 大迫 洋幸 外 99 名
紹介議員	氏名	中村 敏彦